

<敬称略>

(99. 11. 28. 現在・只今募集中です！)

荒井信一 (駿河台大学教授、日本の戦争責任資料センター代表)

有光 健 (戦後補償ネットワーク世話人)

李 仁 夏 (牧師、在日の戦後補償を求める会共同代表)

石田 雄 (東京大学名誉教授)

石田米子 (岡山大学教授、中国・山西省における性暴力被害者の賠償請求裁判を支援する会)

一瀬敬一郎 (731部隊細菌戦国家賠償訴訟弁護団事務局長)

伊藤 孝司 (フォト・ジャーナリスト)

岩淵達治 (学習院大学名誉教授)

殷 燕軍 (国際政治学者)

内田雅敏 (弁護士)

江尻美穂子 (津田塾大学教授)

王 選 (731部隊細菌戦国家賠償訴訟原告団長)

大島孝一 (戦後補償実現市民基金代表)

大友 八郎 (世界抗日戦争史実維護聯合会)

小川武満 (医師、平和遺族会全国連絡会代表)

川田文子 (記録作家)

川村一之 (前新宿区議、軍医学校跡地で発見された人骨問題を究明する会)

姜 尚 中 (東京大学教授)

神林共弥 (全国抑留者補償協議会会長)

木野村照美 (在日の慰安婦裁判を支える会)

宜保幸男 (元沖縄高教組委員長)

金 英 姫 (リドレス国際キャンペーン'99)

栗原君子 (前参院議員)

越田 稜 (アジア民衆法廷準備会)

坂本義和 (東京大学名誉教授)

佐藤健生 (拓殖大学教授)

篠塚良雄 (中国帰還者連絡会)

司馬純詩 (明治学院大学教授)

芝田進午 (広島大学名誉教授)

柴田迪春 (中学教員)

鈴木二郎 (東京都立大学名誉教授、朝鮮人強制連行真相調査団日本側代表)

高橋哲郎 (中国帰還者連絡会事務局長)

田中 宏 (一橋大学教授)

谷川 透 (金景錫さんの日本鋼管訴訟を支える会代表)

津田道夫 (著述家、障害者の教育権を実行する会)

土屋公献 (日弁連元会長、戦後処理の立法を求める法律家・有識者の会会長)

富永正三 (中国帰還者連絡会会長)

鳥居 靖 (軍医学校跡地で発見された人骨問題を究明する会)

新美 隆 (花岡事件弁護団長、オランダPOW&民間抑留者補償請求訴訟弁護団長)

西川重則 (平和遺族会全国連絡会事務局長)

西里扶甫子 (ジャーナリスト)

西野 護 (東京都都職員労働組合中央執行委員長)

長谷川 順一 (新宿平和委員会副会長)

林 功三 (京都大学名誉教授、ピースおおさか研究員)

坂内義子 (戦後補償の実現を！日韓市民連帯共同委員会・共同代表)

福田昭典 (中国人強制連行を考える会事務局長)

藤原 彰 (一橋大学名誉教授、中国人戦争被害者の要求を支える会代表委員)

前田 朗 (東京造形大学教授)

前野 良 (原水禁顧問、政治学者)

増田博光 (軍医学校跡地で発見された人骨問題を究明する会)、

松井英介 (岐阜大学教員、日本軍による細菌戦の歴史事実を明らかにする会代表委員)

松村高夫 (慶応大学教授)

丸山輝久 (弁護士、戦後処理の立法を求める法律家・有識者の会事務局長)

持橋多聞 (強制連行企業責任追及裁判全国ネット事務局長)

本島等 (元長崎市長)

柳沢君雄 (日中友好元軍人の会副代表幹事)

山口研一郎 (医師、現代医療を考える会代表)

吉田義久 (相模女子大学教授)

劉 彩品 (ノーマア南京の会、元南京紫金山天文台教授)

渡辺健二 (法政大学第二中等学校育友会教育研究所所長)

渡辺 登 (三光作戦調査会事務局長)

●連絡先：国際市民フォーラム事務局
〒102-0072 千代田区飯田橋4-5-16-301
Tel：03-3237-0217、Fax：03-3237-0287、
E-mail：icftyo@aol.com
URL：<http://www.jca.ax.apc.org/nmnankin/>
<http://members.aol.com/icftyo/>

主催:国際市民フォーラム (International Citizen's Forum) 実行委員会 (実行委員長=土屋公献)
共催:世界抗日戦争史実維護聯合会 (Global Alliance for Preserving the Truth of Sino-Japanese War =GA)
後援:世界ユダヤ人会議・米国民間抑留者権利センターほか

1

12月10日(金) (会場=東京ウィメンズプラザ)

12:30-14:50 ビデオ上映 ① “The Rape of Nanking” ② “A Secret Buried for 50 Years”

- ① “The Rape of Nanking”: アイリス・チャンの原作を米ヒストリー・チャンネルが映像化。99年8月に全米で放映。日本初公開。(日本語同時通訳付、44分)
- ② “A Secret Buried for 50 Years” 「阿媽ーおばあさんの秘密」: 台湾の元「慰安婦」被害者の証言を収録。98年度台湾・「金馬賞(ドキュメンタリー部門)」受賞。上映後、製作者挨拶を予定。(日本語字幕付、84分)

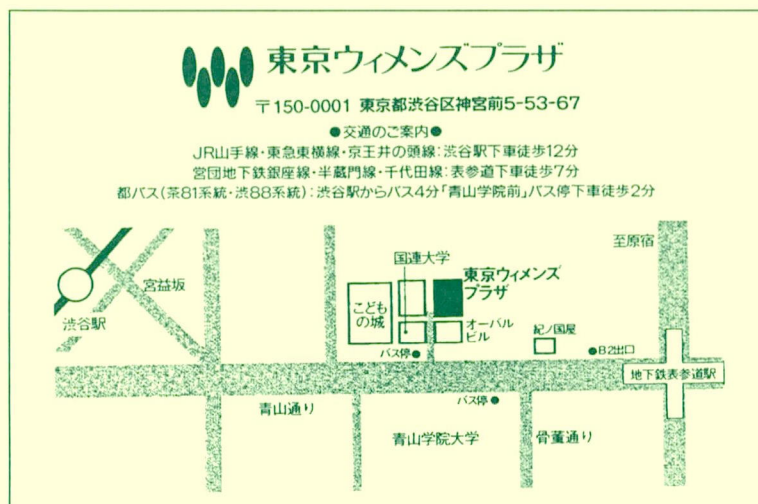
15:00-17:20 開会挨拶・基調講演ー戦争犯罪と戦後補償ー

- 「真相究明、正義そして記憶の大切さ」 マルク・ワイントラウブ(カナダユダヤ人会議理事)
- 「日本の戦争犯罪の実態」 藤原彰(一橋大学名誉教授)
- 「現在日本の政治状況」 西川重則(平和遺族会全国連絡会事務局長)
- 「アジアからみた日本の戦争犯罪」 榮維木(中国社会科学近代史研究所)
- 司会+コメント=田中宏(一橋大学教授)

17:30-19:30 パネル・シンポジウム①

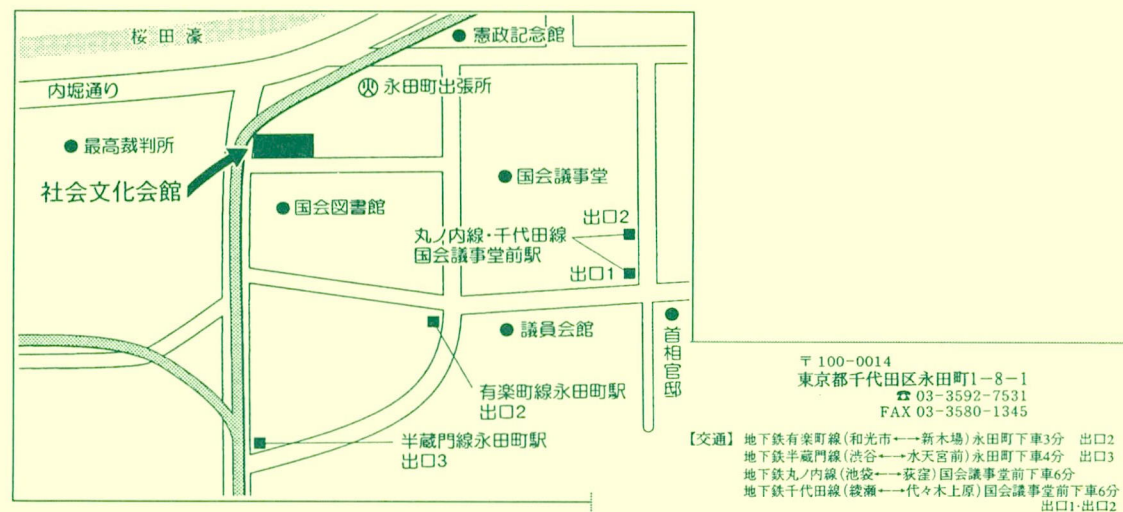
- 「なぜ謝罪と補償ができないのか? 内と外から見た日本」
- パネリスト: 石田雄(東京大学名誉教授)
- 姜尚中(東京大学教授)
- ギュンター・ザートホフ(ドイツ連邦議会政策スタッフ)
- 司会+コメント=佐藤健生(拓殖大学教授)

●12月10日(金) 12:30-20:00



●12月11日(土) 9:30-17:30 12日(日) 10:00-17:00

会場案内



※プログラムは一部変更することがあります。
(99.11.28.②)

主なプログラム

12月11日(土) (会場=社会文化会館)

9:30-12:00 ワークショップ(分科会): 証言と報告

ー被害者は今何を求めているのか? 直面する課題は何か?ー

- A) 南京大虐殺 B) 「慰安婦」(軍隊性奴隷)
- C) 強制連行と捕虜虐待 D) 細菌戦・毒ガス戦 E) 軍票・文化財略奪

13:00-14:00 各ワークショップ(分科会)のまとめ・報告

14:00-17:30 パネル・シンポジウム②

ー日本の戦後補償裁判の現状と課題・立法運動などの課題ー

14:00-15:50 I) 「戦後補償裁判の現状」 司会: 新美隆弁護士

報告者: 「日本の戦後補償裁判の現状」 高木喜孝弁護士(弁連協)

「グローバルな視点から」 バリー・フィッシャー弁護士(米国)

報告とコメント: 周洪鈞華東政法学院教授、張完翼韓国弁護士

日本側弁護士

(休憩)

16:00-17:30 II) 「立法運動・リドレス運動の経験と課題」

マイク・ホンダ加州議員

フィリピン下院議員、アルバート何香港立法委員(弁護士)

日本側国会議員・弁護士

ジョン・ツチダ(カリフォルニア州立大学教授・弁護士)

鹿毛達雄(JCCA・人権委員会)

2

(会場=大ホール)

(A) 南京大虐殺

証言・発言: 李桂英(仮名、被害者)

小池善之(静岡大学講師)、小野賢二(化学労働者)

劉彩品(ノーモア南京の会)、陳娟(南京市檔案館研究員)、張連紅(南京師範大学助教授)

田中宏(一橋大学教授)

司会: 保坂瑛一

(第2会議室)

B) 「慰安婦」(軍隊性奴隷)

報告・発言: 李貞善(韓国・大邱市民フォーラム)

王念慈(台北婦女救援基金会理事・映像製作者)

蘇智良(上海師範大学教授)

川田文子(記録作家)

フィリピン国会議員

司会: 金英姫

(第1会議室C)

C) 強制連行と捕虜虐待

証言・発言:

レスター・テニー(米国元POW)

ギルバート・ヘア(米国民間抑留者センター事務局長)

バリー・フィッシャー(米国、弁護士)

何天義(河北省社会科学院歴史研究所)

新美隆(弁護士)

(第1会議室A+B)

D) 細菌戦・毒ガス戦

証言・報告:

王選(細菌戦裁判原告代表)、張礼忠(第2次訴訟原告)、鄭科位(同)、一瀬敬一郎(弁護士)、松村高夫(慶応大学教授) 趙聆実(吉林省博物館研究員)、川村一之(人骨)、三島静夫(毒ガス)

シェルダン・ハリス(「死の工場」著者)

金成民(731部隊罪証陳列館研究員)

司会: 松井英介(岐阜大学教授)

(第3会議室)

(E) 軍票と文化財被害

証言・報告:

呉滋興(香港索償協会会長)

簡兆平(香港索償協会)

趙建民(上海・復旦大学教授)

内田雅敏(弁護士)

12月12日(日) (会場=社会文化会館)

3

10:00-12:30 パネル・シンポジウム③-A(大ホール)

「日本の戦争体制作りと歴史認識ー新たな戦争の危機と平和運動の課題」

パネリスト: 殷燕軍(中国・南開大学教授、国際政治学者/司会)

李壽甲(韓国平和運動家)

グレッグ・スミス(カナダ・ブリテッシュコロンビア州教育省スタッフ)

栗原君子(前参院議員)、宜保幸男(元沖縄高教組委員長)

司会: 吉田義久(相模女子大学教授)

パネルシンポジウム③-B(第2会議室)

「被害と加害の心の傷を語る」

パネリスト: 野田正彰(京都造形芸術大学教授)

ペーター・リーバーマン(タンネンホーフ財団精神医学・外傷科医長)

14:00-16:30 パネル・シンポジウム④「和解と平和の21世紀を求めて」

パネリスト: ユアヒム・タム(米マカレスト大学教授)

金泳鎬(慶北大学教授)

坂本義和(東京大学名誉教授)

本島等(元長崎市長)

マルク・ワイントラウブ(カナダ・ユダヤ人会議理事)

司会: ジョン・プライス(カナダ・ビクトリア大学教授)

16:30-16:40 東京宣言採択

16:40-17:00 まとめ: 荒井信一(駿河台大学教授)

閉会挨拶

* 閉会后、17:20から南京大虐殺62周年追悼デモ